

参加無料

SECURITY & PROGRAMMING CAMP 2008

未来を「つくる」
未来を「守る」

セキュリティ&プログラミングキャンプ2008

高度IT人材の早期発掘と育成に向けて、若年層のセキュリティ意識の向上、オープンソースやプログラミングについての理解、そして優れたセキュリティ・プログラミング人材の発掘と育成を行うべく、合宿形式で情報セキュリティやプログラミングについて学ぶ「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」を開催します。情報セキュリティやプログラミングについて、真剣にかつ本格的に学びたいという意欲を持った22歳以下の学生・生徒の参加を広く募集します。

参加資格

22歳以下の学生・生徒

※平成21年3月31日時点の年齢です

開催日：平成20年8月13日(水)～8月17日(日) 4泊5日

開催場所：財団法人 海外職業訓練協会(OVTA) (千葉市美浜区、JR京葉線 海浜幕張駅下車)

応募の締切：平成20年7月7日(月)

問い合わせ／参加申込先：財団法人 日本情報処理開発協会「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008事務局」

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 (機械振興会館内) TEL：03-3432-6964 FAX：03-3432-9389

E-mail：camp-entry@jipdec.or.jp (参加申込専用)、camp@jipdec.or.jp (問い合わせ専用)

■個人情報の取扱いについてホームページの内容をご覧いただき、同意の上お申し込みください。参加申込みの際にいただきました個人情報は、「セキュリティ&プログラミングキャンプ」の運営のみに使用させていただきます。第三者への個人情報の提供、預託、開示は行いません。

◎詳しい応募内容は、ホームページをご覧ください。また携帯からの場合は <http://www.jipdec.or.jp/camp/k/> を直接入力いただくか、右記のQRコードよりアクセスしてください。

<http://www.jipdec.or.jp/camp/>

セキュリティ&プログラミングキャンプ

検索



未来を「つくる」、未来を「守る」

2004年度より毎年開催している「セキュリティキャンプ」は、若年層のセキュリティ意識の向上と優秀なセキュリティ人材の早期発掘・育成という当初の目的に沿って、これまで数多くの将来有望な人材を輩出してきており、セキュリティ業界に留まらず各方面から、高度なセキュリティ人材育成の有益なイベントとして認知されつつあります。

5回目となる本年度は、さらに広い意味での高度IT人材の早期発掘と育成に向けて、オープンソースやプログラミングの分野における優れた人材の早期発掘・育成を目的の一つに加えて、情報セキュリティやプログラミングに関する高い意識と技術力を持った人材の発掘と育成を行うべく、次世代を担う中等高等教育段階にある就業前の若者を対象に、合宿形式で情報セキュリティやプログラミングについて学ぶ「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」として実施いたします。

本キャンプは、セキュリティコースとプログラミングコースの2コース制で同じ日程同じ会場で開催します。

それぞれのコースの具体的な目的は、次の通りです

セキュリティコース

高度なIT人材を発掘・育成する場の一つとして、情報セキュリティを中心としたITについての意識が高く、将来的に優秀なIT人材として期待される若い世代に対し、情報セキュリティを中心としてIT化実現のための技術的な目標と高い技術修得への励み、及び安全かつ信頼性の高いIT化の進展について正しい知識を与えることを目的とする。モラル面や法律面などの実習を加味して様々な側面からセキュリティ意識および技術の高い人材を育成することを目指して、セキュリティ技術の実習と演習を行うとともに、セキュリティ業界人、法曹関係者及び学者などセキュリティに関する識者の講義や交流会を実施し、高度な知識と共に法遵守の精神の啓発を行う。

同時開催

プログラミングコース

高度なソフトウェアを設計・開発できる『可能性』がある若い人材を早期に発掘し、その可能性を現実のものに近づけていくことを目的とする。具体的には、22歳以下の若者を対象にオープンソースソフトウェアを基本に、アプリケーションプログラミングの楽しさを理解してもらうとともに、オペレーティングシステムやソフトウェアを作るためのソフトウェアについての理解を深めてもらうため、合宿形式で実習を中心とした講義を行うことで、将来高度なIT人材を目指すような人材を発掘・育成する。



2つのコースを同時に開催することで、双方の参加者・講師陣・関係者が交流し、近い将来、本キャンプ参加者のコミュニティから情報セキュリティやプログラミングに関する優れた人材の輩出及び本キャンプを中心とした人的ネットワークの構築が図られ、各地で自律的な活動へと定着することを目指します。

開催日

2008年8月13日(水)～8月17日(日) 4泊5日

開催場所

(財)海外職業訓練協会(OVTA) (千葉市美浜区、JR京葉線 海浜幕張駅下車 徒歩8分)

参加資格

日本国内に居住する、平成21年3月31日時点において満22歳以下の学生・生徒(但し、20歳未満の方は保護者の同意書が別途必要になります)
※本事業の対象は就業前の教育段階における若者です。職業をお持ちの方はご参加いただけません。

募集人数

両コース合わせて約45名

なお、キャンプにかかる費用(自宅と会場間の交通費(実費)、宿泊費、食事代(3食)、講義代、テキスト代、機器使用料など)は無料です。

応募方法

参加希望の方は、いずれかのコースの応募用紙(ホームページよりダウンロードできます)に、氏名、性別、住所、生年月日および年齢、所属先、電話番号、E-mailアドレス、応募用紙にある質問事項について記入し、事務局まで、E-mail(ファイル添付)、FAX、郵送のいずれかにより送付してください。「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008」のWebページに記入例があります。なお、参加者は厳正な書類審査により決定させていただきます。

注)必ずどちらかのコースを選択して応募してください。両方のコースに応募することはできません。

◎E-mailで応募される場合には、必ずメールのタイトルを以下のとおりコース別に明記して、応募専用アドレス(camp-entry@jipdec.or.jp)宛に送信してください。
・セキュリティコース申込:「キャンプ2008 セキュリティコース参加申込」
・プログラミングコース申込:「キャンプ2008 プログラミングコース参加申込」

◎応募された方には、事務局より「セキュリティ&プログラミングキャンプ2008 応募用紙受領」というタイトルの確認メールを送信します。応募用紙送付後、3日間経過しても確認メールが届かない場合には、事務局まで必ずお問い合わせください。

応募締切

平成20年7月7日(月)必着 (メール、FAXについても同日内に到着したものを有効とします)

セキュリティ&プログラミングキャンプ2008の主な内容

◎セキュリティコースは、参加者全員が受講する「基本科目」と参加者の興味に応じて選択できる「専門科目」を設定しています。プログラミングコースでは、参加者全員が同じ科目を受講します。

◎キャンプ期間中は、講義と演習だけでなく、業界の最先端で活躍されている有識者の方の講義および、参加者・講師・関係者参加の交流会などのイベント、さらにセキュリティおよびプログラミングの実際の現場を体感できる企業見学会を行います。

◎全体を通じて、講義内容と連動してグループ実習を行い、最終日には成果発表会等を行います。

※講義科目の詳細については、セキュリティ&プログラミングキャンプ2008ホームページで順次お知らせします。

セキュリティキャンプとは?

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、合宿形式でセキュリティ技術の講義と実習を行う「セキュリティキャンプ」。昨年(2007)のセキュリティキャンプ2007の一部を紹介します。

基本科目



情報セキュリティの基本的内容や、モラルや法制度、またウイルス・ボット・スパイウェアやフィッシング詐欺など実際に自分たちの周りで起こりうる様々な脅威について学びました。

専門科目

- ◎マルウェアに感染したらどうなるのか。
 - ◎パケット工作というインターネットの通信の根本を学ぶことでネットワークセキュリティを理解する。
 - ◎Webページのプログラミングを学ぶことでWebページのセキュリティ対策を理解する。
 - ◎セキュアサーバー構築やセキュアOSまで、サーバーに関するセキュリティを学ぶ。
- など、最新のセキュリティ技術を学びました。



★“キャンプ”にしかない出会いがあります。

講義内容と連動して様々なセキュリティに関するテーマについてグループ演習を行い、最終日に、研究成果を発表しました。



また、セキュリティ業務の現場を体感できる企業見学会や、業界で活躍されている最先端の技術者の方々との交流会、そしてキャンプ全体を通じて、情報セキュリティの最先端で活躍している講師の方々との交流、出身地や年齢の異なる様々な参加者との共同生活により、将来貴重なものとなる出会いがありました。キャンプ後もここで出会った仲間との交流は続いています。

★今年は、内容を拡大してセキュリティ&プログラミングキャンプ2008として開催します。